ArCS若手研究者海外派遣支援事業

2019年度申請書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請者氏名 | ふりがな |  | 性別 |
| 漢　　字 | 印 |  |
| ローマ字 |  |
| 年齢 |
| 生年月日（西暦） |  | |  |
| 所属機関等 | 所属機関又は  在籍大学 |  | |
| 所属部局又は  在籍研究科 |  | |
| 職名又は  在籍年次 |  | |
| 博士の学位  （博士号取得者のみ） | 取得年月日 |  | |
| 取得大学院 |  | |
| 取得学位名 |  | |
| 現住所 | 〒  TEL:  E-mail： | | |
| 所属機関又は  在籍大学住所 | 〒  TEL:  E-mail： | | |
| 連絡先  （どちらかを選択） | 現住所　　／　　所属機関 | | |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 派遣支援期間中の研究課題名 | 和　文 |  | | |
| 英　文 |  | | |
| 派遣支援希望  国・機関 | 国　名 |  | | |
| 機関名 |  | | |
| 派遣支援希望機関  における  受入研究者 | 氏　名 |  | | |
| 所属・職 |  | | |
| 派遣支援希望期間 | 年　　月　　日　～　　　　年　　月　　日 | | | |
| 本事業における  過去の採択・派遣 | 有 / 無 | | 前回の派遣期間 | 年　　月　　日　～　　　　年　　月　　日 |

|  |  |
| --- | --- |
| 現在の指導教員、受入教員又は上長による承認 | 本申請を承認し、採用された場合は申請者が派遣支援を受けることを承諾します。  　　年　　月　　日  所属・職  氏名　　　　　　　　印 |

【現在までの研究状況】図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。１ページ以内で記述して下さい。

ＰＤ

　①これまでの研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について記述して下さい。

　② 申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について整理し、①で記述したことと関連づけて説明して下さい。「研究業績」欄に記載した論文、学会発表等を引用する場合には、同欄の番号を記載するとともに、申請者が担当した部分を明らかにして記述して下さい。

③これまでに本事業で採択及び派遣されたことがあり、前回の派遣での研究経過及び得られた結果が今回の申請と関係がある場合は、②と区別して記述して下さい。

文字ポイントは10.5ポイント以上で記入して下さい（以下の項目も同様）

【派遣支援期間中の研究計画】図表を含めてもよいので、２ページ以内でわかりやすく記述してください。

（１）研究目的・内容

　　①研究目的、研究方法、研究内容についてわかりやすく記述して下さい。

　　②どのような研究で、何を、どこまで明らかにしようとするのか記述して下さい。

（２）研究の特色・独創的な点

① これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点を記述して下さい。

② 国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義を記述して下さい。

【本派遣支援が対象とする北極域の変化とその影響】

（１）派遣支援先選定理由

申請者のこれまでの研究をふまえ、派遣支援先機関（受入研究者）を選んだ経緯、理由を記述して下さい。

（２）申請者の研究への寄与と、関連する北極域の変化とその影響

①派遣先で研究する必要性や意義、自分の研究の発展にどのように寄与するのかを記述して下さい。

②本派遣支援がどのような北極域の変化とその影響に関連するかを述べて下さい。

【準備状況】

①派遣支援先機関（受入研究者）との連絡，研究実施に対する準備状況を記述してください。また、具体的なやりとりの電子メールなど準備状況を示すものを添付してください。

②派遣先研究機関において研究を実施するためのコミュニケーション能力についても記述してください。TOEFL、TOEIC、英語検定試験などの点数があれば引用してください。ただし、その場合にはどのようなテストなのか（iTB、PBTなど）、いつの結果なのかを明確にしてください。

【論文・発表等の研究業績】

下記の項目について申請者が中心的な役割を果たしたもののみ項目に区分して記入してください。その際、通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記入してください。申請者にアンダーラインを付してください。

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書（翻訳書、辞書、辞典も対象とします。査読の有無を区分して記入してください。査読のある場合、印刷済及び採録決定済のものに限ります。査読中・投稿中のものは除く）

① 著者（申請者を含む全員の氏名（最大20名程度とし、それ以上の数の著者を含む場合は以降省略とします）を、論文と同一の順番で記入してください）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年をこの順で記入してください。

② 採録決定済のものについては、それを証明できるものを申請書に添付してください。

(2) 学術雑誌等又は商業誌（新聞も含みます）における解説、総説

(3) 国際会議における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記入してください）

　　　著者（申請者を含む全員の氏名（最大20名程度とし、それ以上の数の著者を含む場合は以降省略とします）を、論文等と同一の順番で記入してください）、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記入してください。発表者に○印を付してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記入しても構いません。その場合は、それを証明できるものを申請書に添付してください。）

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表

　　　(3)と同様に記入してください。発表申し込みが受理されたものを記入する場合は、(3)と同様に証明できるものを添付してください。

(5) 特許等（申請中、公開中、取得を明記してください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述で構いません。)

(6) その他（受賞歴等）

【その他の研究実績・能力等】

　申請者が修士・博士課程に在籍している学生であり、上記の【論文・発表等の研究業績】に記入する主要な研究業績がない場合、下記の項目について記述して下さい。なお、【論文・発表等の研究業績】に記載項目のある申請者であっても、本申請の研究の実施に関連があれば、同様に下記の項目について記述して下さい。

（１）卒業論文および修士論文の研究内容

（２）本申請の研究に関連する自分の研究技術や能力

【北極域研究推進プロジェクト（ArCS）国際共同研究テーマとの関係】

・申請者自身、または申請者の上長・指導教員が、ArCSプロジェクトの国際共同研究テーマの実施担当者もしくは研究協力者である場合、所属する研究テーマで実施する研究内容と本申請における研究計画の内容の関係について記述して下さい。

・関係がない場合は、研究内容の違いについて記述してください。

・関係がある場合は、本申請の研究内容がArCSにおける研究に対してどのような意義があるか記述してください。

※申請内容によっては審査の際に優先順位が低くなる可能性があります。

　　●優先順位が低くなる申請内容の例

・ArCSの各テーマにおける実施内容に含まれるフィールド調査

・ArCSの各テーマにおける研究成果発表を目的とした会議参加